

平成29年度関東倶楽部対抗千葉第2会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 18倶楽部・144名)

期日：5月22日(月)

場所：千葉カントリークラブ梅郷コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	菅野 康史	山田	松元 正秀	エンゼル	三原 正明	富里	堀越 敏広	長太郎
2	7:39	池田 倫彦	クリアビュー	高橋 憲一	加茂	福原 一実	房州	渡辺 務	浜野
3	7:48	老山 健	本千葉	宮 辰夫	習志野	三枝 由夫	鹿野山	糟谷 治男	我孫子
4	7:57	遠藤 直樹	立野クラシック	川名 邦夫	鴨川	吉田 義美	藤ヶ谷	廣部 清隆	館山
5	8:06	和田 泰治	房総	前田 知憲	千葉	田所 康弘	山田	鶴町 和久	富里
6	8:15	野口 勇	クリアビュー	久保田 吉夫	房州	吉田 潔	本千葉	宮内 利幸	鹿野山
7	8:24	高田 次男	エンゼル	神村 種臣	藤ヶ谷	永見 喜美雄	房総	西野 耕一郎	立野クラシック
8	8:33	市原 和実	長太郎	磯野 芳	加茂	安藤 秀二	浜野	木村 光方	習志野
9	8:42	前田 礼太	我孫子	起田 茂男	鴨川	竜崎 康二	館山	湯川 国秋	千葉
10	8:51	小倉 幸雄	房州	岡村 一八	長太郎	金子 道彦	山田	渡辺 嘉男	習志野
11	9:00	杉山 和雄	館山	山崎 勝也	立野クラシック	川畑 和人	エンゼル	濱部 浩一	クリアビュー
12	9:09	鈴森 一喜	浜野	山口 英之	鹿野山	松野 三郎	鴨川	田中 堅二郎	房総
13	9:18	小幡 茂樹	富里	嶋野 菊治	加茂	萩原 正次	本千葉	蛭原 潤	我孫子
14	9:27	三枝 節	藤ヶ谷	茂澤 克己	千葉	篠崎 秀樹	山田	加藤 利男	クリアビュー
15	9:36	杉村 素澄	本千葉	川邊 悦史	立野クラシック	中村 政史	房総	石井 博久	エンゼル
16	9:45	那須 久治	加茂	福山 憲一	習志野	神子 仁	鴨川	大八木 陽一	千葉
17	9:54	熊澤 忠司	鹿野山	長野 道男	房州	岸 美武	富里	八木 和男	藤ヶ谷
18	10:03	丹羽 清隆	長太郎	大湊 一郎	浜野	臼井 誠	我孫子	山本 功一	館山

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
19	7:30	大内 喜久	山田	望月 幹仁	加茂	高槻 啓太	鹿野山	山城 康博	館山
20	7:39	松崎 勲	エンゼル	和田 博之	房州	川上 恭弘	我孫子	田中 健一朗	房総
21	7:48	鈴木 正一郎	富里	中上 浩三	浜野	山野 純也	立野クラシック	粉川 直孝	千葉
22	7:57	越智 克史	長太郎	遠藤 優太	本千葉	渡邊 清和	鴨川	平野 健一	クリアビュー
23	8:06	小寺 聡司	習志野	戸蒔 大和	藤ヶ谷	杉浦 大幹	山田	鈴木 教大	房州
24	8:15	江藤 征弘	立野クラシック	野澤 稔	エンゼル	宮下 雄一	浜野	樗澤 正彦	鴨川
25	8:24	戸張 智和	藤ヶ谷	山本 次郎	本千葉	難波 紀幸	富里	小山 健児	長太郎
26	8:33	青木 慶太	習志野	原田 育寛	館山	藪輪 浩	クリアビュー	渡部 美和	鹿野山
27	8:42	流 英一	加茂	丸 忠利	房総	小池 祥之	我孫子	舘浦 圭	千葉
28	8:51	成塚 義治	浜野	戸田 光法	山田	日暮 浩之	藤ヶ谷	菊池 光晃	エンゼル
29	9:00	佐野 充成	館山	木村 圭吾	本千葉	関根 保男	富里	大沼 祐介	習志野
30	9:09	小原 健嗣	千葉	古屋 良一	長太郎	森 孝浩	鹿野山	小原 和久	房総
31	9:18	佐々木 厚史	クリアビュー	小林 宏輔	我孫子	土井 克祥	加茂	鶴藺 弘明	立野クラシック
32	9:27	鹿野 剛	鴨川	濱村 拓也	房州	大矢 昭仁	山田	宮井 秀昭	本千葉
33	9:36	志水 政則	房総	岡 洋二郎	エンゼル	小田 雅巳	習志野	森田 喜一郎	千葉
34	9:45	根津 訓光	我孫子	石塚 勝久	鹿野山	松本 伸一	長太郎	松本 真輔	富里
35	9:54	渡邊 功三	鴨川	梅原 和典	立野クラシック	宮渕 修	加茂	南 博	クリアビュー
36	10:03	亀田 潮路	房州	中野 聡	藤ヶ谷	杉野 大輔	浜野	吉田 年和	館山

競技委員長 赤澤正輝

平成 29 年度 関東倶楽部対抗千葉第 2 会場予選競技

開催日 : 5 月 22 日(月)

開催コース : 千葉カントリークラブ 梅郷コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - (a) 排水溝
 - (b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - (c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - (d) 距離標示用の人工のヤーデージマーク(パッティンググリーン前後のものを含む)
5. コースと不可分の部分
ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. ホールとホールの間の白杭
アウトオブバウンズと指定されている公道を越えていった球は、球が道路の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
7. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること
規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
AクラスYards	363	494	167	378	363	539	149	389	365	3207	
BクラスYards	378	517	190	417	402	569	162	410	385	3430	
Par	4	5	3	4	4	5	3	4	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
	389	358	347	140	513	387	157	361	519	3171	6378
	408	379	366	159	562	407	178	415	552	3426	6856
	4	4	4	3	5	4	3	4	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 : 1 回の長いサイレン

プレーの中断 : 連続する 3 回の短いサイレン(繰り返し)

プレーの再開 : 2 回の短いサイレン(繰り返し)

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. 移動

『付属規則 I(B)8 移動』を適用する(ゴルフ規則 183 ページ参照)。

9. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

10. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コイン(200 球)を限度とする。
5. アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。

競技委員長 赤澤正輝